

2025年度の事業報告

(2025年1月1日から2025年12月31日まで)

特定非営利活動法人ランナースUPPORT北海道

1、事業の成果

A)北海道マラソンの運営支援ほか

2025年度も北海道マラソン教室を5月11日(日)から開講、し計6回シリーズで実施し、6回講座受講者は60人を超えた。指導はランニングの科学的研究とコーチングが専門の杉山喜一・北海道教育大名誉教授、北海道医療大の山口明彦教授、井上恒志郎講師の3人体制。5回目の30km走(7月13日)には6回講座受講者に加え、この回のみ参加者150人も、本番へ向けペース走トレーニングを積んだ。

NPO 法人ランナースUPPORT北海道の活動は2025年度から北海道マラソンのホームページで紹介されている。

B)北海道マラソンチャリティーエントリーの取り組み

今年度も北海道マラソン組織委員会の協力を得て北海道マラソン「チャリティーエントリー」を実施した。5万円をNPOに寄付して出場権を得るシステムで、今大会は8人のランナーとその賛同・応援の寄付で計66万円が寄せられ、エントリー運営経費1割を除いた59万4,000円をランナーの指定に沿って、道内の公益財団法人、NPO法人など7団体・事業の活動支援金として助成した。

寄付先指定法人(復興支援 1団体 1事業)	(都市名)	(金額)
・公益財団法人そらぷちキッズキャンプ	滝川市	31万6,800円
障害・福祉分野(2団体)		
・認定NPO法人北海道こどもホスピスプロジェクト	札幌市	4万6,800円
・NPO法人子育て支援ワーカーズ	//	4万6,800円
自然・環境分野(2団体)		
・NPO法人キウシト湿原。登別	登別市	4万5,900円
・アポイ岳ファンクラブ	様似町	4万5,900円
スポーツ・文化・地域おこし分野(1団体)		
・ブロギングジャパン北海道支部	江別市	4万6,800円
寄付先指定(1団体)		
・北海道マラソンクリーン宣言	札幌市	4万5,000円

C)スポーツボランティアの普及・啓蒙

2025年度は3月にスポーツボランティア情報誌「北のスポボラ」35号「バレーボール、道内に新しい風～北海道イエロースターズVリーグ東地区優勝～」、7月に36号「ランニングしながらゴミを拾う新しいフィットネス、プロギング」、12月に37号「ランナーいやす沼田町の雪～前田森林公園サポートエリア 雪玉雪柱6トン～」を発行した。発行部数は各2,300部。今後もスポーツ系ボランティアの新しい取り組みを積極的に紹介していく。

D)北海道スノーマラソン

第11回北海道スノーマラソンは2025年1月26日(日)、晴天のもと八紘学園特設コースを会場に、10km317人、3km131人、計448人の参加者と、43人のボランティアの運営体制で実施された。強い日差しの影響で、コースで一部水が浮いたが、スタッフの適切な対応で、大きな支障をきたさずレースを終了できた。参加賞のじゃがいもかリンゴ(参加者の選択制)に加え、スポンサー提供賞品を抽選でプレ

ゼントして参加者に喜ばれた。

E)北海道ランニング大会ガイド

北海道ランニング大会ガイドを NPO ホームページ上公開している。北海道マラソンをはじめ道内のランニングイベント情報を200大会ほど掲載。2020年まで北海道新聞社が発行していた書籍版がコロナ禍を契機に休刊したのを WEB 版で引継ぎ、毎年内容を更新している。担当のスタッフが取材、編集、制作を担当している。昨年末からは北海道陸上競技協会のホームページにもリンクを貼り、利用者の拡大に努めている。